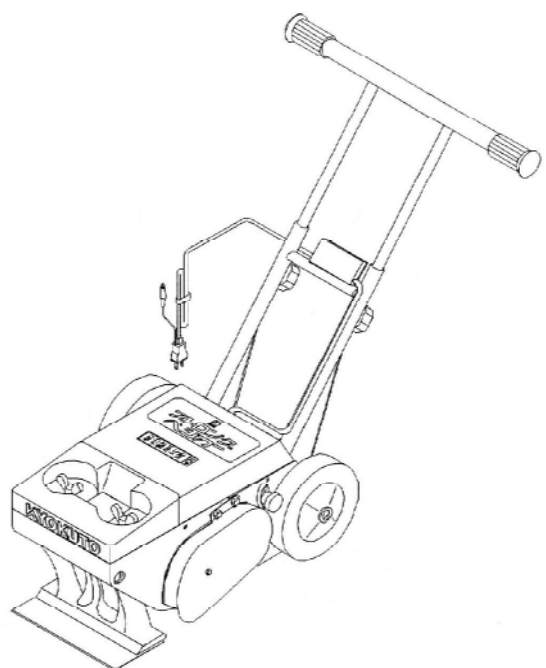




A99-H052-07



強力床材剥がし機 ストロングペッカー

型式 SM - 14

取扱説明書

安全にお使い頂くために、ご使用前に
必ずお読み下さい。

この度は強力床材剥がし機「ストロングペッカー」
をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品を安全にお使い頂くた
めの事柄を記載しています。ご使用前に本書を
最後までよくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、本書はいつでも利用できるよう大切に保管
して下さい。

お使いになる前に

本機をご使用になる前に、下記の付属品が揃っていることを
ご確認ください。

- | | | |
|------------|-------------------|--------------------------|
| ・剥がし機本体 | ・グリス | ・両口スパナ (8 mm × 10 mm) |
| ・取扱説明書 | ・グリスポンプ | ・両口スパナ (13 mm × 17 mm) |
| ・御愛用者カード | ・刃物継ピース (小 3 個) | ・スパナ |
| ・替刃 / 普通刃 | ・刃物カバー | ・六角レンチ (3 mm) |
| ・替刃 / シート刃 | ・工具袋 | ・T型ボックスレンチ (13 mm) |
| ・替刃 / 強力刃 | ・十字ドライバー | |

品質には万全を期しておりますが、万一、不足や運送中の破損
等があった場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。

目 次

安全上のご注意	1 ~ 2
全体外観図及び各部名称	3
作業準備	
作業前確認	4
ハンドル調整	4
移動時・運搬時の操作方法	4
刃物の取付	5
刃物の角度調整	5
床材剥がし作業	6
保守点検	
ベルト調整と取り替え	7
グリスの給脂	7
刃物の研磨	8
継ぎピースのセット	9
過負荷遮断機構	10
トラブルチェックフロー	11
仕 様	12

安全上のご注意

ストロングベッカーをご使用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで床剥がし作業は行わないで下さい。この取扱説明書では、取扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により △[警告] △[注意] [メモ] という項目に分類して表示しています。

△[警告] この表示を無視して誤った取扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。

△[注意] この表示を無視して誤った取扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。

[メモ] これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

運搬時



警告

搬入・搬出および移動時は必ず刃物を外して下さい。



警告

車への積み降ろしは、ウェイトを外し、必ず大人2名以上で行って下さい。また、調整ハンドルを持つての積み降ろしは行わないで下さい。万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

保管時



警告

水平な場所に保管して下さい。



警告

保管時は必ず刃物を外して下さい。



警告

高温・多湿な場所に保管しないで下さい。



注意

刃先カバーのある刃物は、必ず刃先に刃物カバーを取り付けて、布袋・箱等に入れ保管して下さい。

安全上のご注意

作業時



本機はAC100V用です。AC100V以外の電源では使用しないで下さい。
また、発電機を利用した電源は使用しないで下さい。モーターの故障原因につながります。
(万一、発電機を使用する場合には、4.5kVA以上の電源容量を単独で利用して下さい)



煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
すぐに機械本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



作業時は本機の上に人が乗ったり刃物前方での作業を行わないで下さい。



作業前及び作業3～4時間毎にグリスアップを行って下さい。

その他



床材の剥がし作業以外の時は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



電源プラグを抜く際は電源コードを引っ張らないで下さい。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。



定期的に各部のネジは増し締めを行って下さい。

全体外観図及び各部名称

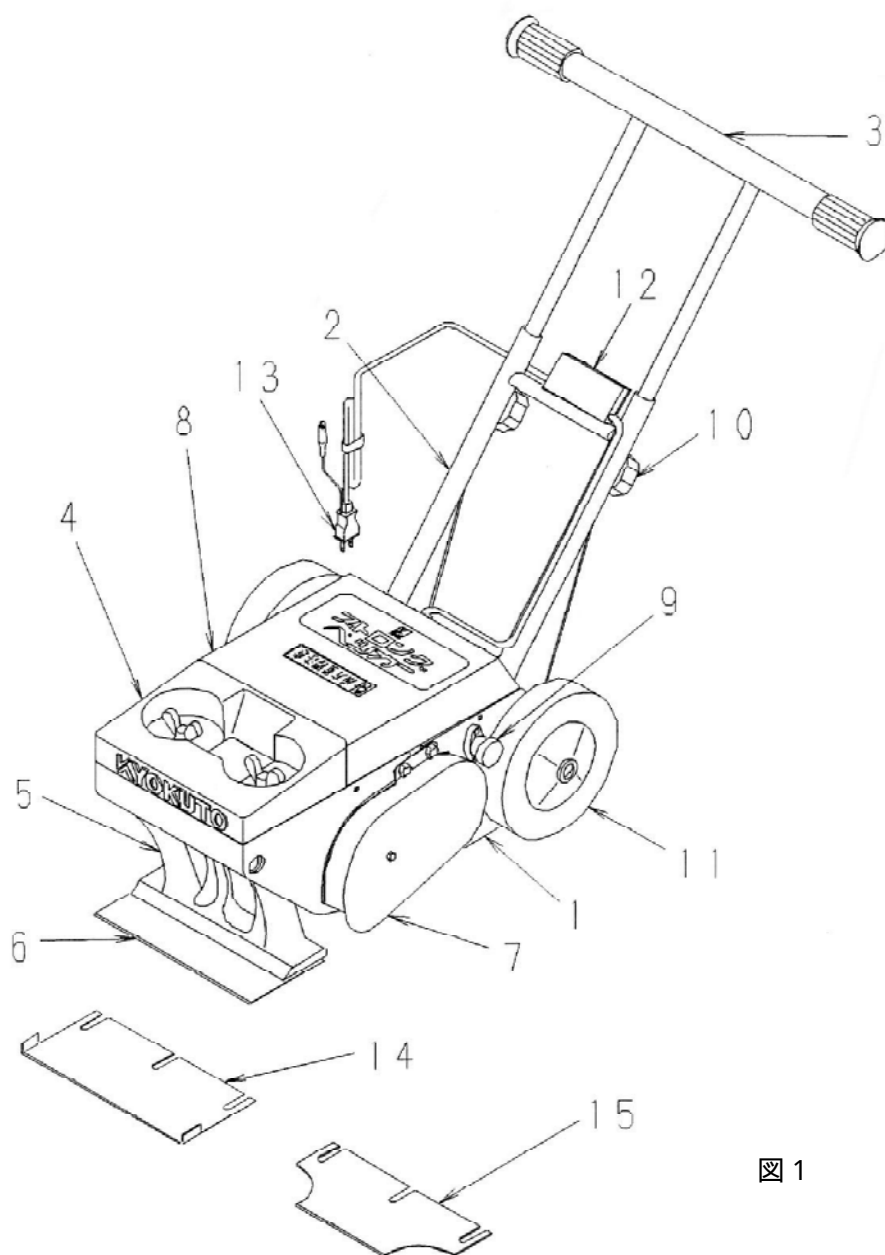


図 1

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 . 本体 | 9 . 角度調整ノブ |
| 2 . 固定ハンドル | 10 . ハンドル調整ノブ |
| 3 . 調整ハンドル | 11 . 走行車輪 |
| 4 . ウェイト | 12 . スイッチ |
| 5 . 刃物ブラケット | 13 . 電源プラグ |
| 6 . 普通刃 | 14 . シート刃 |
| 7 . ベルトカバー | 15 . 強力刃 |
| 8 . カバー | |

作業準備

作業前確認

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい。

AC100V、15A以上の電源が確保できる工事現場であること。
刃物部分がきれいに研がれていること。
グリスが十分に給脂されていること。
ベルトの張り具合が適当であること。
各部の取付ネジに緩みがないこと。



壁際やコーナー・階段等は「コンパクトペッカー」またはチーゼルワイス・クリーパー等と合わせてご使用頂くとより効率よく作業できます。

ハンドル調整

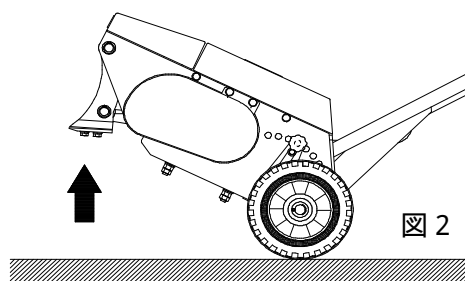
- [1] ハンドル調整ノブを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。
- [2] ハンドル調整ノブを締め込み、調整ハンドルをしっかりと固定して下さい。



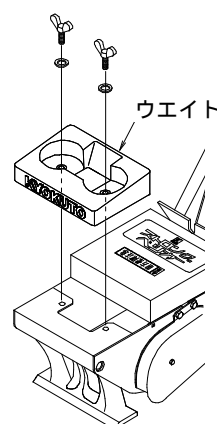
ハンドル調整ノブは、きつく締め付けて下さい。
また、作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

移動時・運搬時の操作方法

- [1] 移動の際は、スイッチがOFFになっている事を確認し、刃先を浮かせた状態で移動して下さい。(図2参照)



- [2] 車への積み降ろしや運搬の際は、本体前部に蝶ボルトで取付いているウェイトを取外し(図3参照) 大人2人以上で積み降ろしを行って下さい。



調整ハンドルを持つの積み降ろしは行わないで下さい。万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

作業準備

刃物の取付

[1] 図4のように刃物ブラケット部を浮かせて下さい。



警告

取付作業中はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

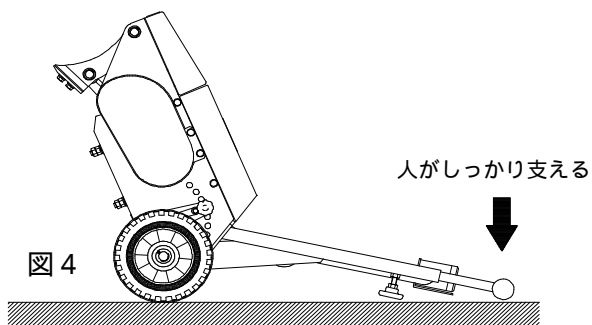


図4

[2] 刃物の研磨面を上向きに奥まで差込みます。
(図5参照)



摩耗して短くなった刃物は、継ぎピースを使用して下さい。
11頁参照

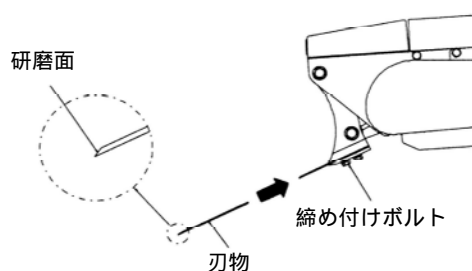


図5

[3] 5本の締め付けボルトをしっかりと締め込みます。



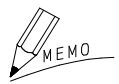
警告

- ・刃物は奥まで差し込み、ボルトは強く締めて下さい。
- ・作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

刃物の角度調整

[1] 刃先を床につけ、車輪を浮かせて下さい。(図6参照)

[2] 角度調整ノブを矢印の方向に引っ張り、セット穴の位置を変更して下さい。
但し、セット位置は必ず左右同じ位置に合わせて下さい。(図7参照)



刃物を立てるほど床材・下地に食い込みやすくなります。

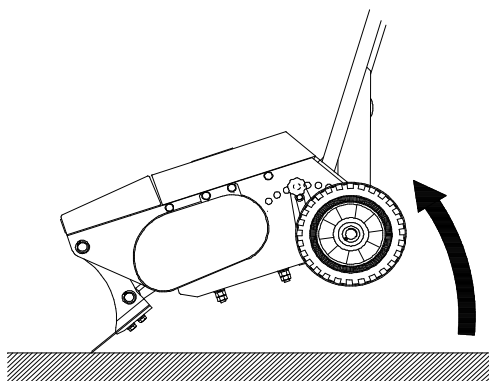


図6

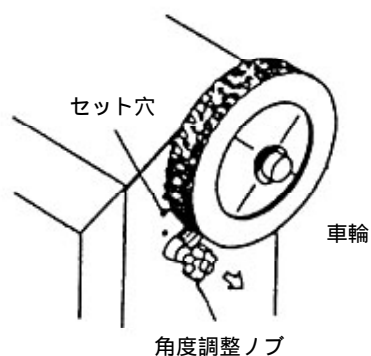


図7

床材剥がし作業

- [1] AC100V、15A以上のコンセントにプラグを差し込みます。
- [2] 刃先を床から浮かせた状態（図8参照）でスイッチをONにします。
- [3] 刃先の振動が一定状態になった事を確認し、ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませます。
刃物が食い込まない場合は、刃物の角度調整（5頁参照）に従って調整を行ってください。
- [4] 刃先が床材と床下地の間に食い込んだのを確認し、床材の剥がれ状況を見ながら、前方に押し
て行きます。刃物が床下地に食い込みすぎる場合は、刃物の角度調整（5頁参照）に従って調
整を行ってください。

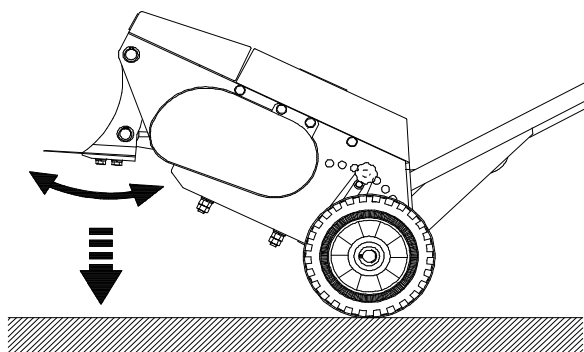


図 8

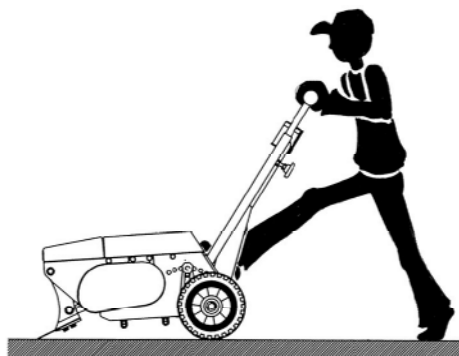
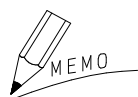


図 9



振動により機械が後退してくることがありますが、片足を固定ハンドルの締め付けナット（袋ナット）付近に置いて、図9のように足で突っ張りながら刃物を床に押しつけると、機械の後退を抑えられます。

- [5] 床材の剥がれ具合が悪くなった場合は、新品もしくは研磨した刃物に取り替えるか、取付刃物を研磨して下さい。



本機には普通刃の他に2種類の刃物があります。床材の種類、床下地の状況、接着剤の度合いに合わせて刃物を使い分ければ、より効果的に作業ができます。

- 普通刃 : 一般的な床材剥がしに適しています。
- シート刃 : CFシート等の長尺床材剥がしに適しています。
(サイド刃付き)
- 強力刃 : 頑固に接着している床材剥がしに適しています。



注 意

モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や工事現場の電圧が低下している場合には過負荷遮断機構が作動する事があります。過負荷遮断機構が作動している場合は10頁に記載の要領で復帰させて下さい。

- ・過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから、再使用して下さい。
- ・電圧が低下している場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。
コードリールや延長コード等を使用している場合は、電圧が低下する事がありますのでご注意ください。

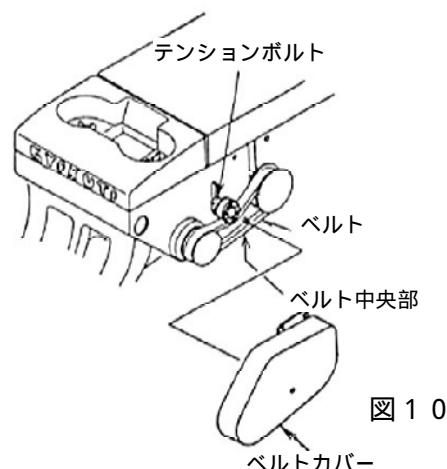
保守点検

ベルトの調整と取り替え

- [1] ベルトカバーを外して下さい。
- [2] テンションボルトを緩め、適当なベルトの張り状態にして、テンションボルトを締めして下さい。(図 1 0 参照)



ベルトの張り具合はベルト中央を軽く押さえて 5 ～ 10 mm たわむ程度が適当です。



- [3] ベルトカバーを取り付けて下さい。



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

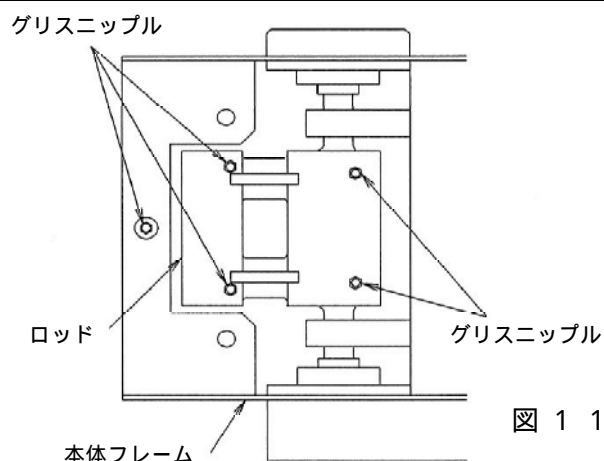


注意

ベルトに損傷がある場合は必ず新しい物に取り替えて下さい。

グリスの給脂

- [1] ウェイトを外して下さい。
(4 頁 図 3 参照)
グリスニップルにグリスガンで給脂して下さい。(図 1 1 参照)



- [2] ウェイトを取り付けて下さい。



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



注意

作業前には必ず給脂して下さい。

保守点検

刃物の研磨

剥がれ具合が悪くなった刃物は、図 1 2 に示すようにグラインダー等で刃先を研磨して下さい。

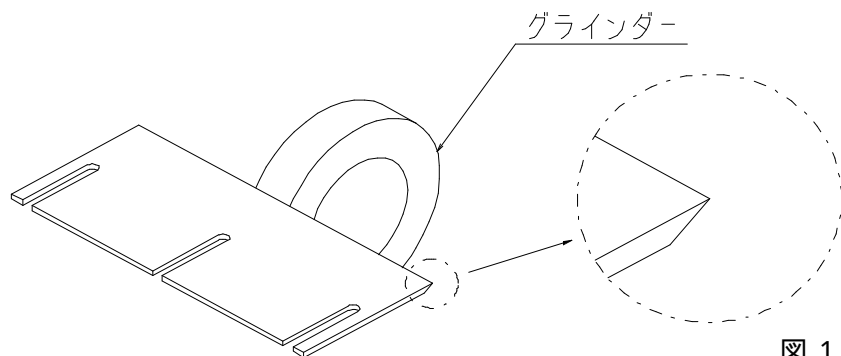


図 1 2



警告

研磨時は必ず保護メガネ等の保護具を着用して下さい。



注意

刃物が短くなった場合は、早めに新しい刃物と交換して下さい。



新しい刃物や再研磨した予備の刃物がない場合は、図 1 3 のように刃物を取り付けたままディスクグラインダーで研磨する事も可能です。但し、作業の際はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。

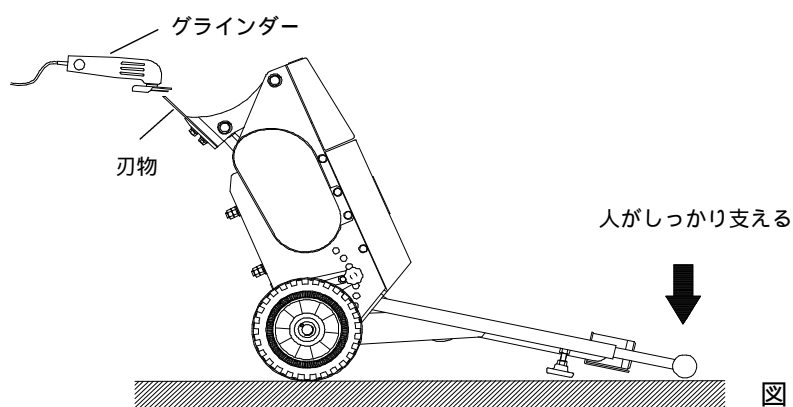


図 1 3



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。

保守点検

継ぎピースのセット

- [1] 摩耗して短くなった刃物は継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。
(図 1 4 参照)

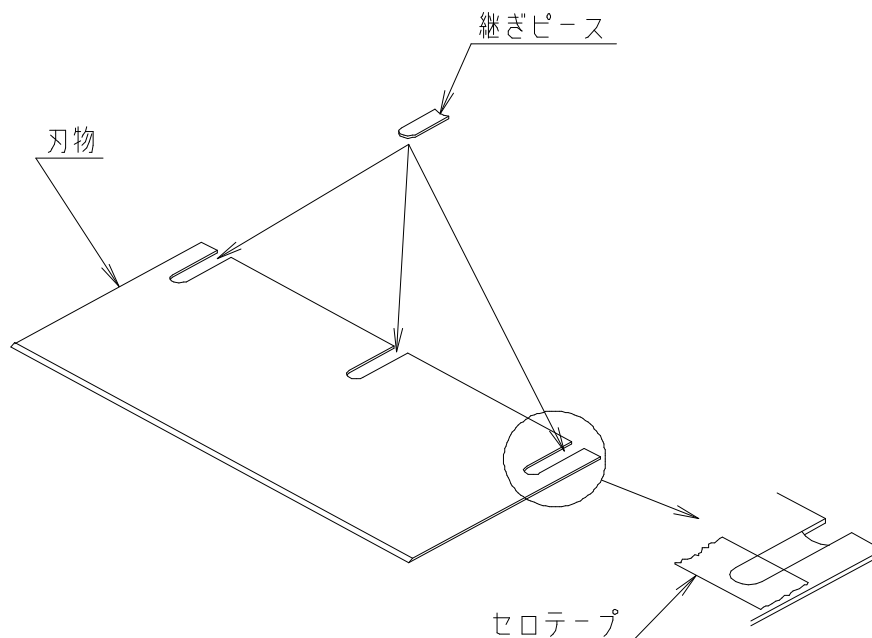


図 1 4



継ぎピースを使用しても使えなくなった短い刃物は新しい刃物に取り替えて下さい。

過負荷遮断機構

本機には過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。作業中に過負荷（定格電流 9 A 以上）になると自動的に電流が切れますので、作業を再開されるには過負荷の原因を取り除きスイッチを ON にして下さい。過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は、遮断機構の設定値を変更して下さい。（図 1 5 参照）



注 意

- ・コードリールや延長コード等で電線を延長して電圧が低下している場合に過負荷遮断機構が働く場合があります。この場合には電線の延長をやめ、本機の電源プラグを直接コンセントに差し込んで下さい。
- ・工事現場の電源電圧自体が低下している場合には、昇圧器（別売）を利用して電圧を AC 100 V に昇圧した後にご使用下さい。

設定値の変更

- [1] スイッチが OFF になっている事を確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- [2] スイッチカバー固定ネジを緩め、スイッチカバーを外して下さい。
- [3] スイッチ内部にある設定値変更ダイヤルをマイナスドライバーで右に回し、設定値を変更して下さい。
- [4] スイッチカバーを取り付けて下さい。

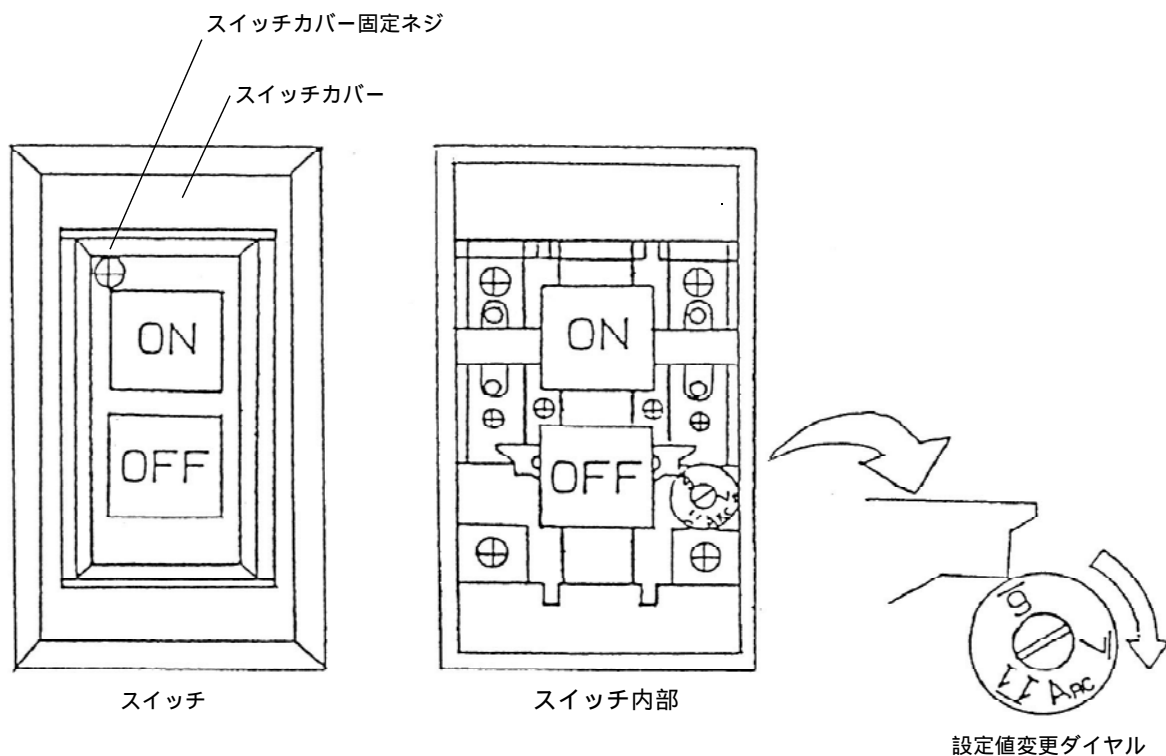
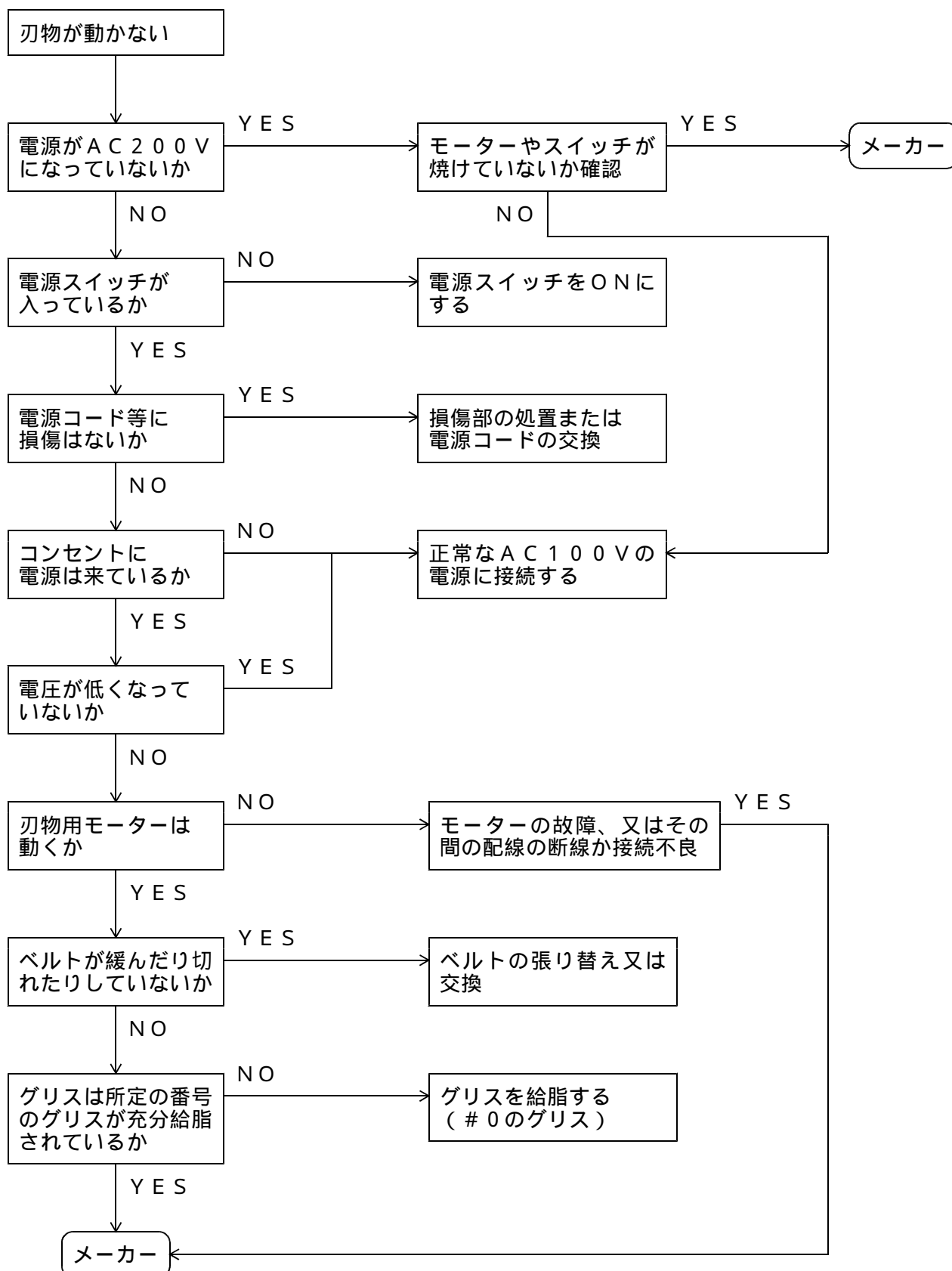


図 1 5

トラブルチェックフロー

本機に異常が生じた場合は、下記のトラブルチェックフローに従ってチェックし、対処して下さい。
「メーカー」に行き着いた場合は、お求めになられた販売店または弊社までご連絡下さい。



仕 様

製品コード	0 5 2 - 0 0 4 3 - 0 0
全長	8 5 5 mm (ハンドル下降時)
全高	6 5 6 mm (ハンドル下降時)
全幅	4 8 0 mm
全質量	7 4 k g (ウエイト : 1 1 . 5 k g 含む)
モーター	A C 1 0 0 V , 5 5 0 W 全閉外扇モーター
刃先振動数	1 , 9 5 0 m i n ⁻¹ (回 / 分) 5 0 H z 2 , 3 4 8 m i n ⁻¹ (回 / 分) 6 0 H z
刃幅	2 7 0 mm (普通刃) 2 8 0 mm (シート刃) 1 5 0 mm (強力刃)

製品仕様は改良等のため、予告なく変更する場合があります。

お問い合わせ先

インテリア機器の総合メーカー



極東産機株式会社

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL <http://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

お客様相談室 0120-079177 (土・日・祝日を除く 10:00～18:00)